



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山橋 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部副本部長兼総務広報部長 (氏名) 片野 博雄

TEL 06-6469-3000

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	89,220	8.2	102		0	99.9	0	100.0
2020年3月期第3四半期	97,198	2.2	305	11.6	403	7.5	309	42.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 147百万円 (49.4%) 2020年3月期第3四半期 291百万円 (3.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	0.01	
2020年3月期第3四半期	22.53	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	25,246	6,910	27.4
2020年3月期	19,963	6,831	34.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 6,910百万円 2020年3月期 6,831百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	8.0	330		150		450	167.7	32.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2021年2月5日)公表いたしました「投資有価証券売却益の計上および2021年3月期通期業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社別府魚市の全株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間の期首より同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	13,774,819 株	2020年3月期	13,774,819 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	49,936 株	2020年3月期	49,931 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	13,724,886 株	2020年3月期3Q	13,724,892 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動が停滞したこともあり、個人消費や企業収益は大きく落ちこんだまま足踏みの状態となりました。新型コロナウイルス感染症は再拡大の傾向にあるなど、収束の見通しが立っておらず、先行きは不透明な状況となりました。

当水産流通業界におきましては、GoToキャンペーン等各種政策もあり一時的に外食向けの需要は回復傾向を示したものの、その効果は限定的となりました。一方で新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛が長期化したことで、消費の軸は内食向けへとシフトしましたが、落ち込んだ水産物の流通は、本格的な回復の兆しが見られず厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は892億20百万円（前年同期比79億77百万円減）となりました。損益面では、貸倒引当金繰入額3億64百万円（当社の販売先の財政状態および経営成績を勘案し、同社への営業債権に対する個別引当金2億33百万円、および当該処理により貸倒実績率が上昇したことに伴う一般債権に対する引当金1億31百万円）が発生した結果、営業損失は1億2百万円（前年同期は営業利益3億5百万円）、経常利益は0百万円（前年同期比4億2百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は0百万円（前年同期比3億9百万円減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

水産物販売事業は、当第3四半期連結累計期間をとおして新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、内食向けの商材は巣ごもり消費の伸びに伴い好調に推移した一方、養殖マダイや高価格帯の天然鮮魚他、外食向けの商材は販売が伸び悩みました。なかでも、第1四半期は1回目の緊急事態宣言による様々な経済活動の自粛の影響を受け、非常に厳しい販売環境でありました。第2四半期以降は回復傾向がみられたものの、第2四半期には主力商材として期待したサンマ等の青魚が不漁となりました。当第3四半期には感染者数の急増に伴う再度の自粛要請により京阪神における宴会需要が大幅な減少となり、カニなどの年末年始の内食需要は例年より好調でありましたが、外食需要の低下をカバーするには至りませんでした。その結果、売上高は890億79百万円（前年同期比79億74百万円減）となり、セグメント利益は29百万円（前年同期比4億4百万円減）となりました。

冷蔵倉庫等事業は、売上高が1億83百万円（前年同期比6百万円減）となり、セグメント利益は4百万円（前年同期比2百万円減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて52億82百万円増加し、252億46百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が53億66百万円増加したこと等によるものであります。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて52億3百万円増加し、183億35百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が36億円1百万円、短期借入金が15億30百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて78百万円増加し、69億10百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が1億65百万円増加した一方で、利益剰余金が68百万円減少したこと等によるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、第4四半期連結会計期間において投資有価証券売却益の計上が見込まれるため、2020年11月5日付「2021年3月期第2四半期決算短信」にて公表いたしました予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2021年2月5日）公表いたしました「投資有価証券売却益の計上および2021年3月期通期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,945	3,484
受取手形及び売掛金	7,698	13,065
商品及び製品	3,545	3,020
短期貸付金	300	300
未収消費税等	141	131
その他	171	264
貸倒引当金	△15	△389
流動資産合計	14,788	19,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	853	817
土地	1,723	1,723
その他（純額）	202	202
有形固定資産合計	2,778	2,743
無形固定資産		
	74	80
投資その他の資産		
投資有価証券	2,054	2,292
長期貸付金	365	379
破産更生債権等	655	241
固定化営業債権	800	787
繰延税金資産	21	3
その他	135	127
貸倒引当金	△1,711	△1,286
投資その他の資産合計	2,322	2,545
固定資産合計	5,175	5,369
資産合計	19,963	25,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,728	10,330
短期借入金	1,450	2,980
1年内返済予定の長期借入金	250	250
未払金	392	705
未払法人税等	104	19
賞与引当金	151	42
その他	297	281
流動負債合計	9,375	14,608
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	500	500
繰延税金負債	269	275
再評価に係る繰延税金負債	251	251
役員退職慰労引当金	230	124
退職給付に係る負債	1,630	1,684
その他	374	390
固定負債合計	3,756	3,726
負債合計	13,131	18,335
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	497	497
利益剰余金	3,145	3,076
自己株式	△19	△19
株主資本合計	5,975	5,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665	830
繰延ヘッジ損益	7	△8
土地再評価差額金	217	217
退職給付に係る調整累計額	△34	△36
その他の包括利益累計額合計	856	1,004
純資産合計	6,831	6,910
負債純資産合計	19,963	25,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	97,198	89,220
売上原価	91,818	84,019
売上総利益	5,380	5,201
販売費及び一般管理費	5,074	5,303
営業利益又は営業損失(△)	305	△102
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	57	57
受取賃貸料	104	120
その他	11	13
営業外収益合計	179	197
営業外費用		
支払利息	14	13
賃貸費用	59	71
その他	6	9
営業外費用合計	81	94
経常利益	403	0
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	1
特別損失		
減損損失	7	7
特別損失合計	7	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	396	△6
法人税、住民税及び事業税	73	29
法人税等調整額	13	△35
法人税等合計	86	△6
四半期純利益	309	0
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	309	0

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	309	0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	165
繰延ヘッジ損益	△13	△15
退職給付に係る調整額	△11	△2
その他の包括利益合計	△17	147
四半期包括利益	291	147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291	147
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	97,054	144	97,198	—	97,198
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	45	45	△45	—
計	97,054	190	97,244	△45	97,198
セグメント利益	433	7	440	△135	305

(注) 1. セグメント利益の調整額△135百万円のうち、△130百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△5百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業セグメントにおいて、7百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	89,079	141	89,220	—	89,220
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	42	42	△42	—
計	89,079	183	89,263	△42	89,220
セグメント利益	29	4	33	△135	△102

(注) 1. セグメント利益の調整額△135百万円のうち、△124百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△11百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業セグメントにおいて、7百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

水産物販売事業セグメントにおいて、株式会社別府魚市の株式を取得し、同社を当社の連結子会社としたことにより、のれんを15百万円計上しております。